

久保田市長の全力投球

第60回



東京人口は、本当に増えているのか

「東京は今も人口が増え続けている。」
本当にそうでしょうか。数字を見てみると、少し違った姿が見えてきます。

数字の裏側を見る

『アフレの正体』『里山資本主義』などで知られる藻谷浩介氏が最近、東京を離れ、九州の地方都市へ移住したと聞きました。その理由は、今後東京では医療や介護の奪い合いになると考えたからだそうです。この話に関心を持ち、データを確認してみました。

東京都は出生数より死亡数が多い「自然減」ですが、地方からの転入や外国人の増加による「社会増」が上回っています。一方、法政大学の黒正教授は、国勢調査に住民基本台帳を加えた分析から、日本人人口は2021年をピークに減少局面へ入ったと指摘しています。

東京も急速に老いていく

東京都は、他の46道府県が人口減少する中でも、2040年ごろまでは総人口が増え続けると見込まれています。しかし、その増加のほとんどは65歳以上です。

子どもの数は減少し、現役世代もいずれ

頭打ちとなる一方、2050年には2020年比で東京都だけで65歳以上の高齢者が約106万人増えると推計されています。医療や介護の需要急増は避けられません。

これまで東京は地方の若い世代によって発展してきましたが、その地方でも若者自体が減っています。東京への流入が細る一方、現在の居住世代が急速に高齢化していく構造変化は、長年続いた東京一極集中が崩れ始めている兆しではないでしょうか。

選ばれる掛川へ

こうした時代だからこそ、地方都市に求められるのは、安心して子育てができ、歳を重ねても住み続けられる地域をつくることです。

掛川市は、豊かな自然と都市機能、新幹線や高速道路の利便性、地域に根差した医療や教育、人と人とのつながりに加え、AIオンライン交通など新しい挑戦も進めています。

これからの時代には選ばれるまちとは、一人ひとりが自分らしく暮らし、将来に希望を持てるまちではないでしょうか。東京一極集中の時代から、地域が選ばれる時代へ。その変化をチャンスに変え、共に掛川の未来を創っていきましょう。

■市の人口 7月1日現在(前月比)

	人口(人)	世帯数(世帯)
合計	113,832 (-40)	48,865 (+11)
日本人	108,055 (-65)	45,586 (-1)
外国人	5,777 (+25)	3,279 (+12)

編集後記

2年ぶり4回目。広報かけがわの編集を担当させていただきます。思い起こせば、初めて担当したのは16年前。当時の編集後記には「わかりやすく親しみやすい記事の掲載を心掛けていく!」と声高に書いていましたが「まだまだだな」と反省する毎日です(泣)改めて、初心を忘れず、市民の皆さんに親しみを込めて広報紙をお届けしたいと思います。どうぞよろしくお願いします。(井)

今月の表紙



今月号の表紙は、市南部で地域クラブとして活動する「FC掛川South」の様子です。どの選手も真剣なまなざしで練習に取り組んでいました。撮影にご協力いただいた監督やコーチ、選手の皆さん、ありがとうございました。

8・9月

献血

問 福祉課(☎21-1140)

と き : 9/15(火)9:15~16:00

ところ : 市役所北側駐車場

※使用している薬(外用薬含む)の名前を伺います。



精神保健福祉総合相談

申 問 西部健康福祉センター掛川支所(☎22-3263)

と き : 8/18(火)、9/1(火)13:30~(事前予約制)

ところ : 西部健康福祉センター掛川支所(金城)

土・日・お盆のごみの休日受け入れ(前日までに要予約)

申 環境資源ギャラリー(予約専用☎29-5070)

と き : 土・日(9:00~11:30)

8/8(土)、23(日)、9/12(土)、27(日)

お盆(9:00~12:00、13:00~16:00)

8/10(月)、12(水)、13(木)、14(金)、17(月)、18(火)



ごみの分別にご協力をお願いします。

6月のごみ搬入量(令和6年度同月比)

1,883トン(+80トン)

問 環境政策課(☎21-1145)



市へのご意見は
こちらから

